



1 学期を振り返って～新しいことに挑戦することを恐れない～

校長 富川 麗子

本日は、1学期の終業式です。1学期、大きな事故もなく無事に終了できたことに安堵しています。

終業式は、これまでの学校生活や日常の生活を振り返り、反省しながら新たな目標を設定する節目の機会となる日です。約4か月の生活を各自で振り返る機会にしてください。

1 1学期の振り返り

4月6日に始業式、7日に入学式があり、1年生の村高生としての生活が始まりました。

TOKYO GLOBAL GATEWAY での校外学習(2年)、球技大会(3年)、防災訓練や体験授業発表会(1年)、また、部活動においては、バドミントン部男子団体、ビームライフ部が上位大会へ出場するなど、素晴らしい活躍をしました。本当におめでとうございます。

そして、8年ぶりに本校のグラウンドで実施した体育祭は、保護者の皆様にも来校いただいたの開催となりました。多くの方が観戦する中での体育祭はやはり良いなと感じました。私は、皆さんに、様々な経験をとおして、クラスの団結や友達との絆を深めると共に、新しいことに挑戦する時の緊張感や楽しさ、責任感、充実感、時には挫折感など、人として成長するために必要な多くを学んでいくことを願っています。

しかし、学校は、毎日、行事を行っているわけではありません。昨年度、私は、行事の閉会式等で、「晴と曇」の話をしたことが、皆さんの学校生活の大半は、毎日の授業です。その時間を大切にすることが、高校生活を豊かにすることになるのです。日常の積み重ねこそが大切です。

本校の先生方は、一時間一時間の授業の準備を丁寧に行っています。6月には、本校が東京都教育委員会から指定を受けている、「学びの基盤」に基づき、4人の先生に研究授業を行っていただきました。多くの先生方が、授業を参観し、授業後は、都教育委員会の先生方とともに、研究協議を行い、更にいい授業にしていくための方策等について意見交換を行いました。本校の先生方の授業に向かう姿勢を、私は、本当に嬉しく思い、このように丁寧な指導をする先生方の授業を受けている生徒の皆さんは、幸せだなと感じています。

2 『心得』

さて、1学期中、私はあるテレビドラマを楽しみに観ていました。そのドラマの主題歌、Uruさんによる「心得」を聞いていると、当然、本校の12の心得を思い浮かべました。

この主題歌「心得」は、自分の力で困難なことを乗り越える大切さを教えてくれています。人生は、楽しいことばかりではなく、難しいことや、苦しいと思うことも起こるけれども、「心得」の歌詞は、その困難なことを一つ一つ乗り越えていくことで、自分自身が強くなっていき、「成長」することを教えてくれています。

そして、「心得」の歌詞では、困難なことが起こった時でも、それを乗り越える力は、皆さんの中に既にあるということを語っています。課題が生じた時、最初はどう対応したらいいか分からなくて、戸惑うかもしれません。しかし、一歩ずつ前へ進むしかないし、一つずつ問題を解決すること、新しいことに挑戦することを恐れないことが大切であると。もし、失敗しても、それはまた一つ学ぶ機会であり、その経験が皆さんを更に強くしていくことを「心得」の歌詞から私は学び、是非、皆さんに伝えたいと思いました。

そして、「心得」の歌詞から学んだ一番大切なことは、「自分自身を信じる」ということです。自分の夢を追い求めるためには、自分を信じて、何度でもチャレンジしていくことが大切であるということです。自分の力を信じて、自分の夢を追い求めてほしいと思います。そして、それが自分の未来を切り開く鍵となると思います。

皆さんが、自分自身の道を切り開くことを、私は心から願っています。そして、どんな困難があっても、自分を信じて前に進んでいき、それぞれの「心得」を大切にして、その力で自分の夢を追い求めてほしいと思います。未来は、皆さん自身が創るのです。

頑張りましょう、村高生！

『2学期』、また、皆さんと元気に再会できることを楽しみにしています。



写真1 1学期終業式の様子



写真2 7月で離任する渋谷先生、Alyssa先生の離任式
お世話になりました。ありがとうございました。